

大阪府水道部

【環境にやさしい大阪府の水道水～30年間の取り組み～】

功績

大阪府では平成 20 年 12 月に策定した「将来ビジョン・大阪」において、「水とみどり豊かな新エネルギー都市大阪」として太陽光発電やエコカーなど新エネルギーの更なる普及を目的とした「新エネルギー都市ナンバー 1」を目指すこととしています。大阪府水道部は、当ビジョンの達成に向けてさらなる新エネルギー導入検討を通じて、地域全体を見据えながら新エネルギーの導入を通じた地球環境保全に努めています。その結果、昭和 60 年に浄水場で大阪府内初の水力発電設備を導入して以来、CO₂ 排出削減量 1 万 9,655t(平成 21 年 3 月までの総量)、過去 5 年平均の CO₂ 排出削減量 1,623.3t/年を実現、太陽光発電や水力発電等新エネルギーの導入により、発電開始から合計で約 6 億 4,000 万円の電力費を削減しました。

一方、年間約 1 万 2,000 人訪れる浄水場の見学者に対して太陽光発電等の環境対策を紹介するなど、積極的に府民への啓発に努めています。